

タンク型式の変更 : 洋上タンク

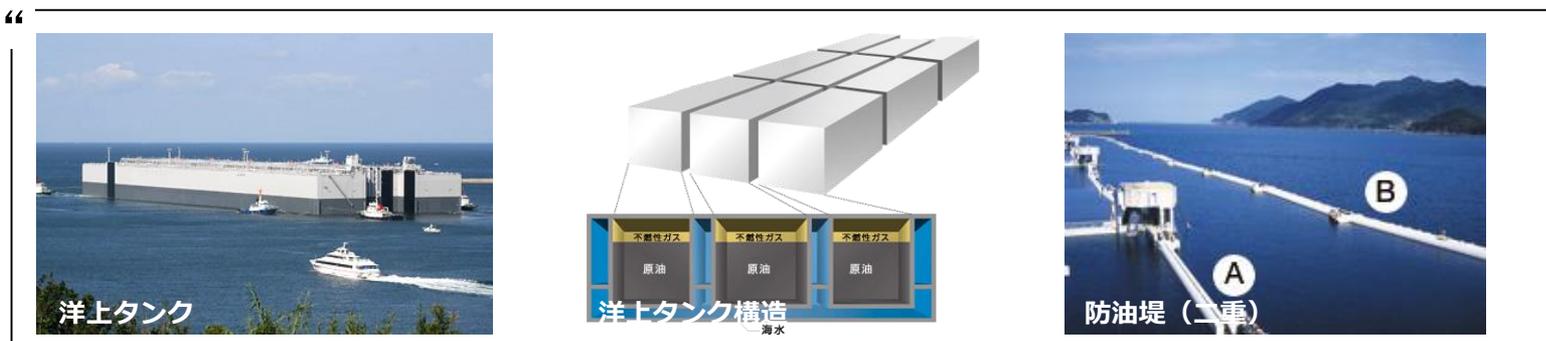
設置条件

- 25m程度の水深が必要
 - ✓ 福島第一の港湾は、水深約4~5m程度
 - ✓ 港湾内を掘削した場合、放射性物質の汚染拡大が想定され、また、運搬の際には、港湾外の海域も掘削する必要がある
- 石油備蓄基地で採用されている洋上タンクの大きさでは、福島第一の港湾内へ入港、設置が困難
 - ✓ 福島第一の港湾内に設置可能な洋上タンクとしては、過去に5/6号機の滞留水を貯留していたメガフロートと同程度の大きさとなり、貯留量としては約1万m³/隻となる。

設置後のリスク

- 津波が発生した場合、漂流物となって沿岸に漂着し、被害を及ぼす可能性がある
- タンク外へ漏えいした場合、漏えい水の回収が困難（石油備蓄の場合は防油堤で回収）

➡ 福島第一への設置は不可と判断



【参考】上五島石油備蓄基地 洋上タンク

出典：すべて上五島石油備蓄株式会社HP

容量：88万kL、1隻の貯蔵船は長さ390m×巾97m×深さ27.6m（内部は縦・横隔壁により9ブロックに分かれている）